

【ねがいましては】

平成13年10月25日

第139号

KYOWA SCHOOL

「きれいな目」

久しぶりに「相田みつをさん」のホームページをのぞいて見ました。日々の生活の中、「だまし合い」や「憎しみ合い」が氾濫する現実。いつのまにか「相田さん」の詩からいただいた、あのこころは・・・ いただいた心で歩けないこの世の中。でも、でもさー!

やっぱり歩きたいですよね。

いつも私が口を開くたびに言っていること、

「あのね、そりゃ一成績が上がればお母さんは喜ぶよね。でも、君達はやるだけのことはやったんだろ。だったら、私は君達に『100点』をつけるね。なんたって積み重ねだよ。結果は、まだまだ先でしょ! 今度の定期テストで成績が上がって、それで有頂天になっているお母さんだったらさ。無視・無視ころころキンチョールさ。」

結果は、ずっとずっと先にあります。お子さんが社会の中で生き生きと人に尽くす姿。自分の仕事に、精一杯汗流している姿をお母さんがご覧になった時、そのときが結果。。。

私は、きらいな、やりたくない事を、歯を食いしばり前向いて歩く。このことだけで今は『100点』でいいと思います。きっといつか、「成績」という、お母様方が1番気になさる「具体物」は結果を出していると思うのです。現にここではその光景が見られます。

自分で自分のことを考え始める中学3年生たち。彼女達は、とちゅうであきらめざるを得なかつた「そろばんの試験」に再チャレンジしました。自分の意思です。練習に取り組む時の表情が違います。そこには、「母の期待」といったものなど存在しません。「周りの評価」を期待する気持もありません。「自分」だけなのです。

子供は、いつもお母さんの表情にとても神経を尖らせてています。テストをしている時、わからない問題に出会うと、「どうしよう、またしかられる!」が過ぎります。そして冷静な心など、どこえやら。。余計にわからなくなります。この悪循環で、さらなる勉強嫌いへと加速します。

あの、辛そうなお母さん。この私に、このぼくに、何の期待もしないくせに、何であんなにまじめに働きつづけるの?なぜあんなにこつこつと。。

こどもはきれいな目で、お母さんを見ています。

もし、お母さん的心の中に、「私はこれだけのことをやってるんだから、少しは私の期待に答えなさい!」なんて「下心」があったとしたら、おそらく見抜いているでしょう。

そのようにして成長したお子さんのほとんどが、勉強に「臆病」です。

さつ! 今日も元気にこつこつ、こつこつ!

11月の予定

9日(金) 珠算・暗算検定試験申し込み締め切り

10日(土) お母さん方との算数勉強会 PM2:00
詳細は別紙を参照下さい。

21日(水)~24日(土) 各検定試験実施

いつもチラシ配りありがとうございます。その気持が嬉しいのです。

